

県会議員 奥村のり子の
読者ニュース

2016年7月17日 第224号

——奥村のり子生活相談所——

〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11

☎ & FAX 073-427-7121

Eメール wjcpken@naxnet.or.jp



アベ政治批判の受け皿に存在感
憲法守り戦争法廃止へ引き続き

天候が大変不順の中、とも 災復興の遅れや農漁業を破壊 法を守り、戦争法廃止に向け
に参議院選挙をたたかってく する環太平洋連携協定、アベ てますますみなさんと力をあ
ださつたみなさんに心からお ノミクスの「成果」がまったく届 わせて、今からさらに運動を
礼を申し上げます。今回の選 かないと有権者のみなさんが 強めて行かなければと思ってい
挙は市民と野党が初めて力を 判断されたと思います。選挙 ます。お体に気をつけてとも
あわせてたたかつた歴史に残 終盤戦では、安倍首相を先頭 になんぼりましょう。
る選挙でした。 に激しい野党攻撃や日本共産
和歌山選挙区では勝利する 党攻撃が行われました。 (奥村のり子)

ことができませんでしたが、1 「国の首相が日本共産党を名 指して連日攻撃する選挙とい うのはかつてない異常なこと」 が起りました。和歌山におい ても仁坂知事の「たかり」発言 や街頭宣伝への圧力などがあ りました。今後いつそう野党 共闘への攻撃が強まっていく可 能性が大きいと考えますが憲 法を守り、戦争法廃止へ引き続

野党統一候補、共産改選倍増六人
争点として反共攻撃の意味するものは…

参議院選挙が終わりました。野党共闘と日本共産 党にご支持を寄せて頂いた読者の皆さんに心からの お礼を申し上げます。結果はご承知のように、全国32 の1人区すべてに立候補した野党統一候補は11の選 挙区で自民候補に勝利するという重要な成果でした。 比例代表で日本共産党は3年前の前回より約86 万2千票増の601万6195票で近畿が活動地域だつ た市田忠義副委員長、大門みきし議員をはじめ全国 で5人が当選。東京選挙区1人当選を含め6議席でし た。改選議席3から新人3人増え、非改選の8人とあ わせ14人の参院議員となりました。

選挙の結果、自民・公明とおおさか維新の会など合 め改憲勢力は参院でも3分の2(162)を超えまし た。しかし選挙戦で自公は「憲法隠し」に終始しまし た。例えばアベ首相は6月8日に本格的遊説を始め、 7月9日まで40都道府県で100回以上の街頭演説 を行ない、一度も憲法問題に触れていないそうです。 公明党山口代表は「(公明党は)改憲勢力ではない」と 弁明に必死。最後は「国民の望まない9条改正はやら せない」(7月9日兵庫県)とこまかすありさまです。こ んな自公の争点そらしとエゲツナイ共産党攻撃は野党 共闘の発展を恐れたのでしょう。今後の改憲阻止への展 望はここにあります。(編集室)

ご支援、本当にありがとうございました。 昨年の夏から予定候補者として全県を駆け巡り、「安保法制=戦争法廃止、安倍政権打倒するために野党共闘を勝ち取る」、この使命に全力挙げてたたかってきました。

野党統一候補が全国32の1人区すべてで実現し、この和歌山もゆら登信さんとい



ご支援ありがとうございました

坂口多美子

素晴らしい野党統一候補を先頭にたたか えたことで、大きくきずなが広がった選挙と なりました。この歴史的な選挙に候補者として たたかえたこと、誇りに思います。

しかし、改憲勢力が3分の2を占めるな か、さらに気を引き締めなければなりません。市民と野党の共闘をさらに発展させて、平和憲法を守りぬくたかいたから からも全力を尽くします。



統一候補は残念でしたが

今度の参院選挙は野党と市民連合 が力を合わせて安倍自公政権と戦う 歴史的な選挙となりました。ゆら登 信さんが立候補され若者やママの会 など多くの支援の輪が広がりました。結果は当選に至らず悔しくてな りませんが、この連帯は今後に繋がる 宝だと思えます。

7月3日、山口小学校で開催され たゆら候補の個人演説会はゆらさん だからこそ実現できた画期的な演説 会でした。会場の設営や応援弁士、 後片付けも地域の方が加わってくれ ました。駐車場の協力もうれしい事

戦いはこれからです

でした。思いがけず、「ゆらちゃんを国 会へ」の応援歌(地元の方の作詞・作曲) が披露され手拍子が起こりました。参 加者数も予想を超え、和やかな雰囲気 で進められました。

滝畑・山口地域の産廃建設反対の運 動は2011年から5年が経過してい ます。その運動の中でゆら弁護士も 「廃棄物の処理及び清掃に関する法 律」の欠陥や水利権等について学習会 の講師として、反対運動の顧問弁護士 としてかかわってこられました。ゆらさ んは一弁護士として反対しているだけ でなく、所属している日本弁護士連合 会としても2007年8月に環境省 に、安定型産廃最終処分場の新規建 設中止の要望書を提出しています。 国会で滝畑・山口の痛切な願いを取り 上げ「新規建設中止」と働いてくれる 議員がいればどんなに心強いことか。 しかしこんではいられません。応援歌 の歌詞にある「戦いは始まったばかり」 です。新しい連帯をさらに強め、ここか

党市議会議員
南畑さち代



ら前に進む以外ありません!

- のり子の週刊日誌—主なもの—
- 7月15日 市駅・吉宗像前宣伝、会議
 - 16日 地域訪問、河西後援会
 - 17日 会議
 - 18日 河西地域無料生活相談
 - 19日 地域訪問
 - 20日 地域訪問
 - 21日 城北無料生活相談、会議

